



# 岡山市と姉妹都市 プロヴディイフ

発行者  
佐野 文音

ブルガリア共和国プロヴディイフ市はバルカン山脈とロドピ山脈に挟まれたトラキア平原に位置し、人口は約三十四万人で、首都ソフィアに次ぐ第二の都市です。

六千年の歴史を誇る街で、ローマ時代の遺跡やモスク、旧市街の石畳に民族復興期（十八から十九世紀）のカラフルでかわいい家屋など見どころがいっぱいです。

岡山市とプロヴディイフ市は、昭和四十七年に姉妹都市になりました。平成四年に二十周年を記念して岡山市が贈った桃太郎の銅像がシモンズ公園にあります。



ローマ競技場跡



ネベット・テペ遺跡



桃太郎の銅像



旧市街



ブルガリア共和国  
首都：ソフィア  
面積：約11万km<sup>2</sup>  
(日本の約1/3)  
人口：約700万  
公用語：ブルガリア語  
通貨：Lv (レフ)  
時差：-7時間

ブルガリアの空港に着いて、最初に感じたことが、タバコの匂いです。喫煙率が高いようで、街中、タバコの匂いで充満していました。日が暮れるのが遅く、暗くなるのが夜九時。レストランなども夜の十二時まで開いていました。レストラン、ホテル、ショッピングモール、鉄道駅などでは無料でWi-Fiが使用でき、便利でした。ブルガリアは給料が安いらしく、平均賃金は約千二百レヴァ（約七万円）。そのため物価も安く、500mlのミネラルウォーターがたったの0.8レヴァ（約五十円）でした。

ホームステイ先で英語が通じなかつたため、ブルガリア語の辞書を購入しました。キリル文字はともなう、難解で、会話に苦労しました。



辞書

## 欧州文化都市イベント 民族祭

今年、プロヴディイフ市は欧州文化都市に選ばれています。欧州文化都市とは欧州連合(EU)が指定した都市で一年間を通して文化や芸術に関する行事を展開する事業です。

そのイベントのひとつである「民族祭」の古代劇場での公演を見に行きました。

古代劇場は、旧市街の高台にある二世紀に造られたローマ時代の半円形の劇場です。今でもオペラやコンサートなどが行われ、約三千人を収容できます。

この歴史的な建物で、世界中からやってきたアーティストの民族音楽と華やかな衣装を鑑賞でき、とても贅沢な時間を過ごすことができます。



古代劇場



民族祭



欧州文化首都2019

## ブルガリア料理 ムサカ

ブルガリア料理の「ムサカ」をホストファミリーが作ってくれました。

作り方は、耐熱容器に、にんじんとたまねぎ、茹でたジャガイモと一緒にラムのひき肉をオリーブオイルでソテーしたもの（ベシヤメルソース（ホワイトソース）を順に重ねて、最後にたっぷりチーズをのせ、オーブンで少し焦げ目がつくまで焼きます。グラタンに似た料理でした。

他にもキョフテ（ブルガリア風ハンバーグ）やケバプチェ（ひき肉の長い炭火焼き）なども食べましたが、ムサカが一番美味しかったです。



## バラの産地

ブルガリアは、日本でもおなじみのヨーグルトのほか、バラの産地としても知られています。世界的に有名なバラの品種「ダマスクローズ」を使って作られる「ローズオイル」は世界の生産量の約八割を占めています。

ホームステイ先のお部屋もローズの香りで満たされていました。ローズオイル工場ではローズソープ作りの体験をすることができました。

お店ではローズウォーター、クリーム、石けんなどのコスメの他に、バラのジャム、シロップ、キャンディーなども売られています。



ローズソープ